

算数オンライン塾 5月31日の問題 解説

(1)

どの時計が合っているかではなく、それぞれが進んだ時間で考えます。

Aが1時をさしたとき、60分進んでいます。そのときBは63分進んでいますから、

A : B = 60 : 63 = 20 : 21 です。

Aが2時50分を指しているとき、正午から170分進んでいるので

$$170 \times \frac{21}{20} = 178.5 \text{ 分} = 2 \text{ 時間 } 58 \text{ 分 } 30 \text{ 秒}$$

(答え) 2時58分30秒

(2) Aが2時のときCは1時56分ですから、

A : C = 120分 : 116分 = 30 : 29

A : B = 20 : 21 ですから、A : B : C = 60 : 63 : 58 になります。

3時間51分 = 231分ですから、

$$231 \times \frac{58}{63} = \frac{638}{3} = 212\frac{2}{3} \text{ 分} = 3 \text{ 時間 } 32 \text{ 分 } 40 \text{ 秒}$$

(答え) 3時32分40秒